

COPM の活用と関わり方の工夫が自己効力感を向上させ家庭内役割の再獲得に繋がった症例

矢澤 香穂¹⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 リハビリテーション課

[はじめに]今回、左視床出血による右片麻痺を呈し、社会的役割の喪失により自己効力感が低下した症例を担当した。COPM の活用と関わり方の工夫により、役割の再獲得が図れたため、以下に報告する。

[事例紹介]50 歳代女性。Y 月 Z 日左視床出血の診断で他院入院。Z+20 日に当院回復期リハビリテーション病棟転院。病前 ADL、IADL は自立しており、家事全般実施していた。自営業で事務業務等を行っていた。次男、次女の知人と 3 人暮らし。現状を悲観し泣いてしまうことがある。

[作業療法評価] **随意性** BRS II-II-II **感覚** 表在覚中等度鈍麻、深部覚軽度鈍麻 **バランス** 座位静的・動的監視、立位支持物使用し軽介助 **歩行** 平行棒内 SLB 使用し中等度介助 **MMSE** 27/30 点 **TMT-A/B** 126 秒/240 秒 **ADL** 食事監視、整容・更衣・トイレ中等度介助、入浴全介助 **FIM** 66 点 (運動 38 点、認知 28 点) **本人の希望** 一人で動けるようになりたい

[問題点]右上下肢の重度麻痺、感覚障害、注意機能低下。基本動作、ADL、家事動作能力低下。自信の喪失や自己効力感の低下。

[目標]基本動作や入浴以外の ADL 自立、家庭内の役割の再獲得を図る。

[治療プログラム]①上下肢体幹機能練習 ②ADL 練習 ③家事動作練習 ④自主練習指導

[介入経過] **初期(1-7W)** 1W:右半身が動かず泣き出す場面頻回にある。2W:ADL 能力向上するも「よくなっているか分からない」と涙ぐむ。能力向上には賞賛する関わりを開始。3W:COPM(重要度/遂行度/満足度)実施。更衣 10/1/1、入浴 10/1/3、洗濯 10/1/1。客観的評価と主観的な動作能力に相違あり。ADL 能力向上に向け目標を共有した。7W:更衣、トイレ自立。悲観的発言は軽減した。 **中期(8-11W)** 8W:COPM 更衣 10/7/7、洗濯 10/1/1。「不安はあるけどできてきたね」と。家事動作獲得に向け目標を再設定。洗濯動作開始。9W:掃除動作開始。 **後期(12-16W)** 12W:COPM 更衣 10/8/7、入浴 10/5/5、掃除 8/6/6。「息子はやらないから掃除はやんなきゃ」13W:床掃除や机の拭き掃除動作獲得。14W:洗濯は洗濯機操作、取り出し、運搬、畳み動作自己で可能。16W:「掃除は柄の長い箒を用意し

ないと」との発言。

[最終評価] 随意性 BRSⅢ-Ⅲ-Ⅲ 感覚 左右差なし バランス 自立 歩行 四点杖小 SLB 使用し 屋内自立 MMSE 29/30 点 TMT-A/B 105 秒/103 秒 COPM 入浴 10/7/7、洗濯 10/6/8 ADL 入浴以外自立。入浴軽介助 FIM 117 点 (運動 82 点、認知 35 点) IADL 洗濯、掃除動作一部獲得 [考察] 症例は、病前に家庭内や社会的役割を果たしており、これらが大切な作業であった。齋藤らは、大切な作業を実現するには、その作業に含まれる役割を果たし、大切な環境と結びつくことが重要であり、役割はアイデンティティの確立や精神的安定を生む¹⁾と述べている。症例は役割を喪失し、大切な環境である退院後を想像できず、作業の実現困難な状況に陥ったため自己効力感が低下したと考える。また、能力向上した作業の客観視が困難な状況であった。永田らは作業遂行への自信には、能力や機能の僅かな改善に対する対象者の理解や治療的態度が重要²⁾と述べている。そのため、COPMにより、本人の重要視する作業を抽出したうえで目標を共有し、経時的変化を追うため定期的に評価を実施した。遂行状況を数値化し、客観的に身体状況や動作能力の変化を把握したことが理解につながったと考える。また、山本は、成功には賞賛等の強化刺激を与え、難しい課題へ段階づけることで、不安を低減できる³⁾と述べている。今回、成功には一貫して賞賛しつつ、セルフケアから家事動作獲得に向け段階付けて治療を設定していった。これらの関わりにより、症例の不安は低減し、作業遂行への自信につながり、自己効力感の向上、家庭内役割再獲得に至ったと考える。

[参考文献]

- 1) 藪脇健司、高齢者のその人らしさを捉える作業療法、文光堂、2015、23-85
- 2) 永田誠一ら、麻痺側上肢への援助と心理面への影響～全体像の向上に向けて～、作業療法、2003、22、215
- 3) 山本淳一、理学療法における応用行動分析学の基礎-2。技法の展開-、PT ジャーナル、2001、35、135-142